

『生活・学習アンケート』より、明らかとなった4つの課題について

前日の生活改善を!

生活リズムと学習習慣
めあて 自分の生活リズムと学習習慣を見直そう!

※最初の5日間自分でチェックしてみよう

できた○	できなかった×	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
1	2	○	○	○	○	○
3	4	○	○	○	○	○
5	6	○	○	○	○	○
7	8	○	○	○	○	○
9	10	○	○	○	○	○
11	12	○	○	○	○	○
13	14	○	○	○	○	○
15	16	○	○	○	○	○
17	18	○	○	○	○	○
19	20	○	○	○	○	○
21	22	○	○	○	○	○
23	24	○	○	○	○	○
25	26	○	○	○	○	○
27	28	○	○	○	○	○
29	30	○	○	○	○	○

「前日の夜に学習準備ができていいる」割合は、小学校低学年では、(保護者が協力していることもあり)とても高い割合となっています。小学校3年生以降の改善が求められます。「忘れ物」は、全学年で改善傾向にあります。しかし、今後さらなる取り組みによって、前日に時間割を確認・準備できるように習慣づけることが必要となります。そこで「家庭学習の友」でチェックを実施し、子ども・保護者・担任が連携する取組を行っています。実施前日の放課後には、机上に「家庭学習の友」を準備し意識付けも行っていきます。

家庭学習時間の定着に向けて、宿題はしているが、自主的な学習時間の確保ができていない子どもが多く存在します。90分以上の家庭学習を確保しようとする、帰宅後の優先順位を考えた自律した行動が必要です。放課後を計画的に活用できる生徒は、90分以上の家庭学習に取り組み、睡眠時間も確保できています。4月の保護者授業参観において、「家庭学習の友」を活用しました。子どもと保護者、教師が授業参観を通して家庭学習について考えました。写真は、「生活・学習アンケート」結果の科学的データを確認しているところです。学校にもともとある「学習の手引き」も活用し家庭学習への具体的な取組方法を深化させることもできました。拠点校の校区では、「生活・学習アンケート」の個人票も面談で配布し、生活・学習習慣の改善に役立ててもらっています。具体的方法として、自主学習ノートの充実に取り組んでいます。

科学的根拠の忘却曲線も学習しました。

小学生の自主学習ノート

保護者授業参観で家庭学習について学習

保護者授業参観で家庭学習について学習

『携帯電話安全教室』とコラボ!

なるほど資料 我が家の約束事

ケータイ・スマホ

いつでも見られるように貼っておこう!

●ケータイ・スマホの使用は、夜間は禁止します。
●ケータイ・スマホの使用は、1日1回以内に行います。
●利用用途
●利用時間
●利用場所
●利用料金
●利用料金の支払い方法
●利用料金の領収書の提出方法
●利用料金の領収書の提出先
●利用料金の領収書の提出時期
●利用料金の領収書の提出回数
●利用料金の領収書の提出回数
●利用料金の領収書の提出回数
●利用料金の領収書の提出回数

我が家のオリジナルルール

ケータイ・スマホ 我が家の約束事

- 用がないときは、リビングでいる
- 毎日、家族と会話をする
- 人のプライバシーに関わらない

テレビの視聴や携帯電話・スマートフォン・タブレット型コンピュータの使用などのメディア利用については、小・中学校ともに課題になっています。家庭の囲んでテレビ視聴もあると思いますが、個別データからはテレビ視聴やネット利用ともに長時間の子どももおり、心配されます。保護者の皆様からもネット・ラブルやネット依存について、心配を感じているという意見や感想をお聞かせください。どうしても見たいテレビ番組は、録画して休日に視聴するなど、家庭におけるメディア利用についてのルールづくりを進める必要があります。今回は、「携帯電話安全教室」と連携してケータイ・スマホ[我が家の約束事]を活用しました。

小・中学校とも、新刊紹介を実施する、図書便りなど読書習慣の定着を図る活動を継続しています。クラブ活動や部活動などもあり多忙かもしれませんが、活字に親しむ時間の確保が必要となっています。そこで、図書館サポーターのご協力で、給食の時間を利用して読み聞かせを始めました。リラックスした時間が流れています。また、幼児期からの読書習慣の定着を目指し、保護者・図書館・幼稚園・保育所と連携する取組も始めています。

図書館サポーターと協力

なるほど資料 私の読書貯金

20冊読んだ人は、先生に報告しよう!

題名	読み始めた日	読み終わった日	メモ	購入先・図書館名・一言	確認
例)○○○	4/15	5/1	学校図書	学校図書	学校図書
①	/	/			
②	/	/			
③	/	/			

図書館サポーターと協力

図書館サポーターと協力

家庭学習への取組 小・中学校共通ポスター

鳥取市立西中学校作成ポスター参照

家庭学習のススメ

○自分でずんずんやってみよう ○ねばり強く取り組もう ○今の自分以上をめざそう

学年	美馬小学校						美馬中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
時間	20分	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分
内容	音読 漢字 計算 日記 読書						授業の予習・復習 テスト勉強 進路実現に向けて		
自主勉強	調べたよ 見つけたよ 苦手なよ 得意なよ その日のうちに復習 習ったことは						授業の予習・復習 テスト勉強 進路実現に向けて		

「家庭学習の友」でいろいろな学習にチャレンジしよう!
小中9年間で未来に向かって学び続ける力をつけよう



テレビでの啓発

具体的実践方法や結果を可視化することで、共通理解が進みました。

- 小・中学校共通のポスター
- 大型TVモニターでの啓発
- クリアファイルに印刷し家庭へ配布・啓発
- 面談での資料・アンケート結果の配布



家庭学習には、いいことがいっぱい

忘れ物ゼロ

ゲーム時間ゼロ

阿南一中 1年生 を分析

自立・自律ができる 一中生へ変身

「90分の壁」をこえて、放課後を計画的に活用

家庭学習 10分×学年を超える時間確保も目標

平成29年3月作成 『家庭学習リーフレット』作成委員会 —— 阪根 健二・北島 孝昭・藤田 美智子・長江 徹子・森 篤之

家庭学習支援とは、どうあるべきか

徳島県学力・学校力向上支援事業
鳴門教育大学 家庭学習支援事業

よりよい学校教育を通じて、よりよい社会づくりを目指す理念が重要視されています。人工知能の発達など急激な社会変化に対応するため学校現場では、主体的・対話的で深い学びなどの「誰かが教えてくれる、手助けしてくれる」から、「自分で変化に対応す

ることが求められるようになります。このような社会の変化の中で家庭学習においても科学的根拠をもとに自律について考え、自分で変化し続けることが大切であることがアンケートの分析により明らかとなりました。

「生活・学習アンケート」の実施
拠点校区 1700名の児童・生徒に
3年間/4万枚!!

科学的根拠にもとづいた4つの課題

「生活・学習アンケート」より、明らかとなった課題

- 忘れ物
- 家庭での過ごし方
- 家庭学習
- 読書習慣

「早寝・早起き・朝ご飯」を始めとする子どもたちの生活習慣を育み、寄り添い、自律への協力をし、夢を実現するために「家庭学習の友」を作成し活用

近道はないけれど、家庭学習の具体的な方法は、あります。

さらに、家庭学習充実のため、子ども・教師・保護者・地域が協力

地域が協力



日垂化学工業株式会社 家庭学習提案会



美馬地区婦人会 家庭学習提案会

鳴門教育大学・徳島県教育委員会・美馬市教育委員会・阿南市教育委員会

